一宮中学校

教室空調設備設置工事

統番	図面番号	図　面　名　称	縮　尺
1	Ａ－００	表紙・図面リスト	No Scale
2	Ａ－０１	案内図・配置図	1:500
3	Ａ－０２	足場及びフェンス設置図	1:100
4	Ａ－０３	１～３階建具改修キープラン	1:200
5	Ａ－０４	建具表（普通教室棟）	1:50
6	Ｅ－０１	電気設備仕様書	No Scale
7	Ｅ－０２	配置図	1:300
8	Ｅ－０３	高圧受変電設備改修･単線結線図	No Scale
9	Ｅ－０４	幹線・動力設備平面図（管理棟･１ 階）	1:100
10	Ｅ－０５	幹線・動力設備平面図（普通教室棟･１ 階）	1:150

笛吹市

統番	図面番号	図　面　名　称	縮　尺
11	Ｅ－０６	幹線・動力設備平面図（普通教室棟･２ 階）	1:150
12	Ｅ－０７	幹線・動力設備平面図（普通教室棟･３ 階）	1:150
13	Ｅ－０８	空調電源配線設備平面図（特別教室棟･１ 階）	1:150
14	Ｍ－０１	特記仕様書	No Scale
15	Ｍ－０２	１・２階空調設備平面図	1:200
16	Ｍ－０３	３階空調設備平面図	1:200
17	Ｍ－０４	特別教室棟１階空気調和設備平面図	1:200
18	Ｍ－０５	室外機基礎詳細図	1:20
19	Ｍ－０６	冷媒管保温施工要領図	No Scale

特記事項	
①	
②	
③	
④	

代表設計者		縮尺
一級建築士登録番号　第　　号	一級建築士登録番号　第　　号	A2(A3)：S=1：100(141)
氏名	氏名	設計年月日

工事名称　一宮中学校　教室空調設備設置工事

図面名称　足場及びフェンス設置図

A － 02

廊下
普通教室⑩
普通教室⑪
普通教室⑫
普通教室⑬
普通教室⑭
階段室１
階段室２
男子便所
女子便所
ベランダ
4,000
9,000
8,000
61,000
2,500
7,000
9,500
F1
F2
F3
F4
F5
F6
F7
F8
F9
FA
FB
FC
３階建具改修キープラン　Ｓ＝１／２００
支援室①
支援室②
普通教室⑥
普通教室⑦
普通教室⑧
普通教室⑨
２階建具改修キープラン　Ｓ＝１／２００
昇降所
手洗所
前室
スタジオ
放送室
ポンプ室
普通教室①
普通教室②
普通教室③
普通教室④
6,000
１階建具改修キープラン　Ｓ＝１／２００
特記事項
代表設計者
一級建築士登録番号　第　　号
氏名
構造担当者
一級建築士登録番号　第　　号
氏名
縮尺
A2(A3) S=1:200(282)
工事名称　一宮中学校　教室空調設備設置工事
図面名称　１～３階建具改修キープラン
A － 03

※アルミパネルの配管貫通用穴あけ加工は配管サイズに応じて決定とする。

記号	数量	場所	種別	仕上	ｶﾞﾗｽ(撤去部分)	金物	見込(mm)	改修窓　寸法(mm)		備考
								W	H	
SP-1	9	１階普通教室３箇所　２階普通教室３箇所 ３階普通教室３箇所	ｽﾁｰﾙﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	ｽﾁｰﾙ製	ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ 3mm	付属金物一式(既存) ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ,開閉ｽﾄｯﾊﾟｰ(新規)	80	1045	670	地窓ｽﾁｰﾙﾊﾟﾈﾙ、掲示板展示用ｸﾛｽ貼り ｱﾙﾐｻｯｼ：焼付塗装仕上
SP-2	4	１階普通教室１箇所　２階普通教室１箇所 ３階普通教室２箇所	ｽﾁｰﾙﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	ｽﾁｰﾙ製	ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ 3mm	付属金物一式(既存) ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ,開閉ｽﾄｯﾊﾟｰ(新規)	80	632.5	670	地窓ｽﾁｰﾙﾊﾟﾈﾙ、掲示板展示用ｸﾛｽ貼り ｱﾙﾐｻｯｼ：焼付塗装仕上
SP-3	2	２階支援室①　１箇所（パネル取替２枚）	ｽﾁｰﾙﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	ｽﾁｰﾙ製	ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ 3mm	付属金物一式(既存) ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ,開閉ｽﾄｯﾊﾟｰ(新規)	80	900	670	地窓ｽﾁｰﾙﾊﾟﾈﾙ、掲示板展示用ｸﾛｽ貼り ｱﾙﾐｻｯｼ：焼付塗装仕上

特記事項	
	1
	2
	3
	4

代表設計者	構造担当者	縮尺	工事名称	一宮中学校　教室空調設備設置工事
一級建築士登録番号　第　　号	一級建築士登録番号　第　　号	A2(A3) S=1:50(70)	図面名称	建具表（普通教室棟）
氏名	氏名	設計年月日 出力年月日: 保存年月日:		

工事名　一宮中学校　教室空調設備設置工事

電気設備仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事場所　山梨県 笛吹市

2．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積（㎡）	消防法施行令別表第一	建築基準法別表第一	備考
一宮中学校	ＲＣ造	ー	ー			

（注記：延べ面積は建築基準法による表記）

3．工事種目（〇印のついたものを適用する）

建物別及び屋外 ＼ 工事種目	工事種別 一宮北小学校			備考
構内線路設備				
〇 受変電設備	改修一式			
発電設備				
〇 幹線設備	新設一式			受変電～動力盤迄
〇 動力設備	新設一式			動力盤～エアコン室外機迄
電灯設備				
構内情報通信網設備				
テレビ共同受信設備				
拡声設備				
時刻表示設備				
呼出設備				
監視カメラ設備				
防犯設備				
誘導支援設備				
インターホン設備				
火災報知設備				
雷保護設備				
外構（渡り廊下）電気設備				

Ⅱ．工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されてない事項は、全て下記による。

1）国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書　（電気設備工事編・最新版）」
「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編・最新版）」
「公共建築設備工事標準図　（電気設備工事編・最新版）」
及び「電気設備工事監理指針　（最新版）」

（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
尚、機械設備工事の工事仕様書及び建築工事の工事仕様書は、各々電気設備工事に準ずる。

2．工事範囲

設計図書、現場説明及び工事契約書による。

3．提出書類

現場説明書、工事契約書及び監督員の指示するもの。（〇印の付いたものを適用する）

〇工程表	〇施工計画書	〇設備機材等選定表	〇機器類製作図	〇施工図面
〇工程写真	〇完成写真	〇試験成績書	〇機器類完成図	〇完成図面
〇保証書類	〇取扱説明書	〇届出書類の控え	〇機器材納品書	〇工事日報

4．特記仕様

（1）項目は番号に〇印の付いたものを適用する。
（2）特記事項において選択する内容の事項は、〇印の付いたものを適用する。
（3）その他細部については、監督員の指示による。

項目	特記事項
① グリーン購入法	グリーン購入法に該当する品目は、その判断基準よる仕様を満足すること。
② 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書（「設備機材等選定表」を含む）に規定するものも含め、全て監督員の承諾を受ける。 化学物質を発散する建築材料等はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 尚、ホルムアルデヒドを発散しないものとはＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆表示建築材料を、ホルムアルデヒドの発散が極めて少ないものとはＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆表示建築材料又は同等品を云い、原則としてＦ☆☆☆☆表示建築材料を使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、Ｆ☆☆☆表示建築材料又は同等品を使用するものとする。

項目	特記事項
③ 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。
④ 工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真の撮り方（最新版）建築設備編」による。
⑤ 発生材の処理	1）引渡しを要するもの　⊙無し ⊙有（変圧器:3φ・75KVA・１台） 2）引渡しを要するもの以外 構外搬出とし、搬出及びその処理は　・別途工事とする。⊙本工事とする。 3）特別管理産業廃棄物　⊙無し ・有（ＰＣＢ使用機器：蛍光灯安定器・変圧器類の調査を行うこと。） ＰＣＢ使用機器は関係法令により適切に処理し、建物管理者に引渡す。 4）再利用又は再資源化を図るもの　・無し ・有（現場監督職員の指示による　） ⊙現場説明書による。
⑥ 残土処理	・埋戻し後の建設残土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。 ・現場説明書による。　⊙場内搬出処分とする。
7 電線本数管路など	分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配線経路は、電線太さ、電線本数及び管経等は監督職員の承諾を受けて変更しても差し支えない。 また、機械室等の床配線は図面上　ＰＦ管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。
⑧ 使用電線管	特記なき電線管は、合成樹脂可とう電線管（ＰＦ一重管）とし、ボックス及び附属品等も樹脂製とする。露出配管はネジナシ電線管（ＥＰ）とする。 ただし屋外露出部分は、厚鋼電線管（溶融亜鉛メッキ塗装）を使用すること。
9 予備配管	埋込形の盤類には、予備配管を設ける。［予備回路、×３までは（２２）相当を１本、×４以上は（２２）相当を２本とし、予備スペース１に対して（２８）相当を各１本天井内まで立ち上げる］
⑩ 導入線	予備（空）配管には、太さ１．２mm以上の被覆鉄線を挿入する。
11 金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。（プライマー処理後、ＳＯＰ２回塗り指定色仕上） ・屋外（　）・屋内（　）
⑫ 産廃物の適正処理	施工に際して発生する建設副産物は、関係法令に従って適切に処理すること。
⑬ 寸法・形状	本設計図のうち、機器姿図等に記入の寸法・形状は参考とする。
⑭ 盤類の鍵	盤類の鍵は、基本的に２００番とし、使い分けが必要な場合は５５０番と併用する。
15 電磁開閉器	遠方操作用押ボタンは、連用形とする。
16 スイッチ	・タンブラＪＩＳ連用大角形　・ネーム付（印刷文字）　・ワイド形
⑰ コンセント	図面に特記なき場合は、コンセント　２Ｐ１５Ａ（接地極付）は、プラグ不要とする。
18 フロアコンセント	・プラグ収納形　・アップ形　・上下動形
19 プレートの材質	フラッシプレート　⊙金属製　・樹脂製　使い分けは現場指示による。 フロアプレート　・砲金製　・アルミ合金製
20 ローテンションアウトレット	・ＯＡ対応形（大口）・片口形　・両口形
21 保安器用接地	・本工事　・別途
㉒ 接地極埋設標	屋外灯を除く接地極埋設個所には接地極埋設標（金属製・国土交通省形）を取付けること。
㉓ 地中線の埋設標	構内線路における埋設標の材質及びその個数は、図面に記載のない場合は次による。 ⊙鉄製（　箇所）　⊙コンクリート製（　箇所）
㉔ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
㉕ 環境対策型製品（線ケーブル類）	電線ケーブル類は、環境対策型「エコマテリアル」（ＥＭ）製品を使用する。 但し、既製品のない種類の物は監督職員の承諾を得ること。 ＥＭ電線等で規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料により構成されているものとし、次の記号、仕様による。

記号	仕様
EM−UTP	ＪＩＳ　Ｘ　５１５０（ＵＴＰ）に準じ、シースにＪＣＳ規格によるＥＭケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの
EM−CEES	ＪＩＳ　Ｘ　４２５８　Ｄ（制御用ケーブル（遮へい付））に準じ、絶縁材及びシースにＪＣＳ規格によるＥＭケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの
EM−MEES	ＪＣＳ　２７１（ＭＶＶＳ）に準じ、シースにＪＣＳ規格によるＥＭケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの

㉖ 取付高さ

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名称	測点	取付高さ［mm］
ブラケット（一般）	床上～中心	２，１００
〃（踊場）	〃	２，５００
〃（鏡上）	鏡上端～中心	１５０
避難口誘導灯	床上～下端	１，５００ 以上
廊下通路誘導灯	床上～上端	１，０００ 以下
スイッチ（一般）	床上～中心	１，１００
〃（身体障害者用）	〃	１，１００
コンセント、電話アウトレット、直列ユニット	〃	３００
〃（和室）	〃	１５０
コンセント（車庫）	〃	８００
子時計、スピーカ	〃	（天井高）×０．９
アッテネータ	〃	１，１００
出退表示盤（表示灯）	〃	（天井高）×０．８
発信器（出退表示用）	〃	１，１００
インターホン	〃	１，５００
身体障害者用インターホン子機	〃	１，１００
呼出ボタン（身体障害者用）	〃	９００
復帰ボタン（〃）	〃	１，８００
廊下表示灯（〃）	〃	２，０００

備考：（天井高）×０．９　及び（天井高）×０．８　は大凡天井高が２，５００～３，０００mm　の場合に適用する。

項目	特記事項
㉗ 機材の品質・性能証明	設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は、外部機関（（社）公共建築協会他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、ＪＩＳ（日本工業規格）に該当するものであることを示す表示のある機材を使用する場合及びあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合には、資料の提出を省略することができる。共通仕様書によるＪＩＳ、ＪＥＣ、ＪＥＭ等の基準に該当するものはその適合品とし、それ以外は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の、建築材料設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿（最新版）による。
㉘ その他	⊙機材メーカーに拠る施工要領で禁止事項及び注意義務は施工者の責任施工とする。 ・ケーブル配線等の防火区画及び防火上主要な間仕切壁貫通個所は、耐火処置を施すこと。 ⊙屋外（多湿所）に使用するプルボックス、支持金物及びビス類はステンレス製とすること。 ・波付硬質ポリエチレン管（ＦＥＰ）は難燃性製品を使用すること。 ⊙波付硬質ポリエチレン管より建物、盤及び露出立上がり箇所は、異種管接続材を使用し、厚鋼電線管等にて施工すること。（耐震処置例による） ・屋外より地下ピットへの配管飛込み部分は、つば付スリーブ、防水用止水材を使用し防水処置を行う。 ⊙地中配管口には、湿気、泥水、小動物及び危険性ガス等が浸入せぬ様、管口止水材（パテ、シール等）を使用すること。 ⊙建築構造上のエキスパンジョイント箇所は、配線上支障なき様処置すること。 ⊙ハンドホール、プルボックス内では、ケーブル本数及び、点検等を考慮しケーブル支持金物などを設ける。 ⊙ハンドホール、幹線用プルボックス及び、分電盤等要所の電線等には、プラスチック製の名札を取付け、配線サイズ、系統種別、行先、施工年月日及び施工者名を刻印表示する。 ・断熱施工する外壁面取付の位置ボックスには、結露防止材を使用すること。 ⊙図面に特別指示なくも技術上、構造上、美観上当然必要とみとめられるものは、請負者負担において、良心的に行うものとする。 ・引込み取付け点は、電力会社、ＮＴＴ等関係担当員と協議の上決定する。 ⊙改修工事部分は、事前に現場調査を綿密に行い、施工上の問題点等を監督員と協議の上、施工に着手すること。 ・既設配線を使用する部分で不具合が生じるものは、図示なくもその改善を行う。 ・撤去工事にあたり図面記入なくも不必要な配線等は撤去する。 ⊙接地極の材料は下記による。なお、接地棒ＥＢ(14φ)の長さは 1500mm 以上とし、10φ、14φは、Ｗ=40 としてよい。

・	接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
・	共同接地	EA.D	10Ω以下	銅板（900*900*1.5t以上）－１組
・	共同接地	EA.C.D	Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－　組
・	Ａ種接地	EA	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－２組
・	Ｂ種接地	EB	Ω以下	銅板（900*900*1.5t以上）－１組
⊙	Ｄ種接地	ED	100Ω以下	ＥＢ（14φ）×２連－１組
・	Ｃ種接地	EC	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－　組
・	高圧避雷器	ＥＬＨ	10Ω以下	銅板（900*900*1.5t以上）－１組
・	低圧避雷器	ＥＬＬ	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－２組
・	避雷設備	ＥＬ	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－２組
・	交換機用	Ｅt	Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－　組
・	通信用	EAt	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－２組
・	通信用	ECt	100Ω以下	ＥＢ（10φ）×１　（Ｌ＝1500mm）
・	測定用	ＥＯ		ＥＢ（10φ）×１　（Ｌ＝1000mm）

5．凡例

図中特記なきシンボル等はＪＩＳ－Ｃ－０３０３－００に準拠。（細目は、平面図等による。）

6．補足仕様

1）工事進捗状況報告書を提出すること（毎月１回月末）とし、インターネットでの提出も可とする。（営繕課指定の書式とする）
2）火災保険の加入期間は、工期に１４日以上の日を加えた日までとする。
3）高度技術・創意工夫・社会性等実施状況について、請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することが出来る。
4）請負者は、請負金額が５００万円以上となる場合、共通仕様書に基づき（財）日本建設情報総合センターに工事実績情報を登録すること。
5）暴力団等からの不当要求及び工事妨害の排除
(1) 請負者は、工事の施工に当たり、暴力団等からの不当要求及び工事妨害を受けた場合は、その旨を直ちに発注者に報告するとともに、所轄の警察署に届け出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
(2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに発注者と協議すること。
(3) 請負者が(1)の報告等を怠った場合は、「笛吹市建設工事に係る指名停止等措置要領」に基づき、指名停止措置を行うこととする。
6）不正燃料使用の排除
(1) 請負者は、工事の施工に当たり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油を使用してはならない。
(2) 請負者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。

Ⅲ．設備機材等選定表（下記以外は監督員の承諾を得ること）

機材名	指定メーカー					
高圧遮断器類	戸上	三英社	エナジー	東光	富士	三菱
受変電、配電盤類	山梨県配電盤工業協同組合加盟製造者				誠和	
分電、制御、端子盤類	同上				誠和	
変圧器、コンデンサー	日立	富士	東芝	三菱	ニチコン	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ
発電機、装置類	明電舎	日立	東京電機	三菱	川崎重工	日新電機
照明器具類	東芝	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	岩崎	三菱	日立	丸茂
電話機器類	ＮＥＣ	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	岩通	日立	東芝	ＮＴＴ
電気時計・表示機器類	セイコー	シチズン	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	東芝	ＮＥＣ	キャノン
拡声、視聴覚機器	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	ＴＯＡ	三菱	東芝	日立	ビクター
インターホン機器	アイホン	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	ケアコム	日立	三菱	東芝
誘導支援・呼出し機器	アイホン	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	ケアコム	日立	三菱	東芝
テレビ共聴機器	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	ＤＸ	東芝	八木	日アン	マスプロ
監視カメラ機器類	日立	ＴＯＡ	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	ビクター	三菱	池上通信機
非常警報装置機器	能美	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	東芝	ホーチキ	ニッタン	沖電気
火災報知機器	能美	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	東芝	ホーチキ	ニッタン	沖電気
防排煙制御機器	能美	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	東芝	ホーチキ	ニッタン	沖電気
ハンドホール類	日本資材	関根	杉江	土井	フジプレ	山一窯業
ケーブルラック類	ネグロス	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	カナフジ	摂陽	電成	日亜
避雷設備機器類	東京	大阪	ワールド	村田	ライオン	沖電気
ガス漏れ警報機器類	能美	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	東芝	コスモ	矢崎	
太陽光発電機器類	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	京セラ	シャープ	三菱		
配線器具類	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	東芝	神保	寺田	明工社	アメリカン
電線ケーブル類	ＪＩＳマーク表示品、又はＪＩＳマーク表示許可工場					
電線管、付属品類	同上					

共通仕様書によるＪＩＳ、ＪＥＣ、ＪＥＭ等の基準に該当するものはその適合品とし、それ以外は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の、建築材料設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿（最新版）による。

アスファルト舗装
砕石
GL
埋設シート
サンドクッション
電線管
600
300
150
150
・サンドクッションは管上150H、
管下150Hとする。
・埋戻しについては、良質発生土を使用し、
残土は原則として場内処分とする。
・埋設標識シート(2倍長)を、
GL-300の位置に布設すること。
管路掘削要領図:NO SCALE
水路を確保すること
普通教室棟
管理棟平面図参照
EM-CET100□(FEP100)
空配管(FEP100)×2:予備
構内整地:37.65㎡
中庭
①-B
技術科棟
②
自転車置場
屋内運動場
既設:HH
構内整地:9.68㎡
EM-CET100□:(FEP100)・予備配管入線
特別教室棟
EM-CE8□-3C.E2.0×2(G36LT)
犬走り:コンクリート・はつり,補修
アスファルト:トカッター・復旧
既設:高圧受変電設備改修・別図参照
正門
▽道路境界線
側溝
EM-CE8□-3C.E2.0×2(FEP80)・予備配管入線
EM-CE8□-3C.E2.0×2(FEP30)
KBM±0
10,500
特記事項 ① ② ③ ④
代表設計者
一級建築士登録番号 第 号
氏名
縮尺
A2(A3):S=1:300(422)
設計年月日
工事名称 一宮中学校 教室空調設備設置工事
図面名称 配置図
E－02

注　記

1 指示計器は電子式とする。
2 各バンクに LGR を取り付ける。(故障表示)
3 警報盤に漏電,過負荷警報を表示する。
4 予備品　フック棒 1本、ヒューズ、ランプ類　100%納入とする。
5 SUS 製　屋外防水形 指定色仕上とする。
6 変圧器は油入自冷式低損失形(ﾄｯﾌﾟﾗﾝﾅｰ), 防震ゴム付とする。
7 チャンネルベースは溶融亜鉛ドブ付けとする。
8 点検窓はアミ入り強化ガラスとする。
9 盤外面に付くネームプレート、表示板はビス (SUS) 止めとする。
10 コンデンサー回路用 LBSは　引外し装置付とする。
11 EB接地は　パネル前面で漏曳電流が測定可能とする。

電灯配電盤−1

幹線No	負荷名称	開閉器	容量	配線
1	LK1−1 (管理棟)	MCCB3P225/200A	32.3 KVA	CET100□
2	LK−2 (管理棟)	MCCB3P225/150A	24.8 KVA	CET 60□
7	PL−2 (特別教室棟)	MCCB3P225/225A	12.0 KVA	CET 38□
8	LP1−1 (屋内運動場)	MCCB3P225/225A	46.6 KVA	CET150□
9	LP1−1 (屋内運動場)	MCCB3P100/100A	15.0 KVA	CET 38□
10	予備	MCCB3P225/200A		
11	予備	MCCB3P100/100A		
12	所内	MCCB2P 50/ 20A		

電灯配電盤−2

幹線No	負荷名称	開閉器	容量	配線
3	LF−1 (普通教室棟)	MCCB3P225/150A	27.1 KW	CET 60□
4	LF−1 (普通教室棟)	MCCB3P225/200A	35.5 KW	CET100□
5	L−4 (特別教室棟)	MCCB3P225/175A	42.1 KW	CET150□
6	LT−1 (特別教室棟)	MCCB3P225/150A	32.8 KW	CET100□
13	予備	MCCB3P225/200A		
14	予備	MCCB3P100/100A		

動力配電盤

幹線No	負荷名称	開閉器	容量	配線
1	PK−1 (管理棟)	MCCB3P225/200A	37.4 KW	CET100□
2	P-3 (普通教室棟)	MCCB3P 50/ 50A	2.2 KW	CE 8□
3	P-1 (特別教室棟)	MCCB3P100/ 75A	9.3 KW	CET 38□
4	PL−2 (特別教室棟)	MCCB3P225/125A	20.0 KW	CET 60□
5	LP1-1 (屋内運動場)	MCCB3P 50/ 50A	5.5 KW	CE 8□
6	エレベーター盤	MCCB3P 50/ 50A	6.3 KW	CET 22□
7	消火ポンプ	MCCB3P 50/ 50A	11.0 KW	FP 22□
8	太陽光発電装置	MCCB3P100/100A	20.0 KW	CET 60□
9	予備	MCCB3P225/200A		
10	予備	MCCB3P100/100A		
11	空調電源盤・1	MCCB3P400/350A	55.02KW	CET 100
12	空調開閉器	MCCB3P50/40A	5.6 KW	CE 8

特記事項	
①	
②	
③	
④	

代表設計者
一級建築士登録番号　第　　号　　一級建築士登録番号　第　　号
氏名　　氏名
縮尺 NO SCALE
設計年月日

工事名称　一宮中学校　教室空調設備設置工事
図面名称　高圧受変電設備改修・単線結線図
E − 03

※ 凡例・注記
CR 空調機ｺﾝﾄﾛｰﾗｰ：機械設備より支給品・取付・結線本工事
E_D・E_D(ELB) 接地極：14φ・L=1500×2連
天井点検口：450□
廊下有効幅員 2,290
屋外への出口に至る歩行距離Ａ(5.40m)
くぐり戸：800*1,800 = 1.44㎡
別図参照
特別教室棟平面図参照
【廊下】
【階段室】
【ポンプ室】
【職員便所(M)】 14.08m² 4.26坪
【職員便所(W)】 14.08m² 4.26坪
床下点検口
【PS・EPS】
【物置】
【犬走り】
竪樋：VP(カラー)φ60
竪樋：SUS φ80
AW：防火設備
PB:SS・600□×600・WP-SUS
消火器一体型消火栓
EM-AE1.2-2C×2
【廊下】 95.04m²
空調ｺﾝﾄﾛｰﾗｰ：総合盤取付
EM-CET100□・EM-AE1.2-2C(GLT82)
EM-AE1.2-2C
【職員室】 154.92m² 46.86坪
(無窓居室) 【応接室】 16.25m² 4.92坪
【印刷室】 36.95m² 11.18坪
【校長室】 35.88m² 10.85坪
(多目的便所) 6.20m² 1.88坪
【昇降所】 28.93m² 8.75坪
【資料室】 8.20m² 2.48坪
【湯沸室】 6.80m² 2.06坪
【別途申請】【EV】 10.97m²
【給食搬入ホール】 58.82㎡ 17.79坪
【ポーチ】
UP スロープ(1/15)
スロープ(1/7)
ホワイトボード
プリンター
コピー
裁断機
紙折機
更衣ロッカー
下駄箱
傘立
金庫
優勝盾棚
優勝旗棚
食缶・1 食缶・2 食缶・3
食器・1 食器・2 食器・3
冷蔵庫 パン庫 流し台
犬走り：ｺﾝｸﾘｰﾄ・はつり，補修
▽3m延焼ライン
▽外壁相互の中心線
△庇投影ライン
H2-9R8K-60
EM-CET100□(FEP100)：3φ
空配管(FEP100)×2：予備
既設：HH
EM-CET100□(FEP100)・予備配管入線：3φ
配置図参照
ｱｽﾌｧﾙﾄ：ﾄｶｯﾀｰ・復旧
EM-CET100□(GLT82)：3φ
空配管(GLT82)×2：予備
45,065
特記事項 ① ② ③ ④
代表設計者
一級建築士登録番号 第 号
氏名
縮尺 A2(A3)：S=1:100(140)
設計年月日
工事名称 一宮中学校 教室空調設備設置工事
図面名称 幹線・動力設備平面図(管理棟・1階)
E — 04

空調電源盤・1:ｽﾃﾝﾚｽ製・屋外・防雨・壁掛形・錠付・指定色仕上

3φ3W・200V:Cubより
55.020KW・EM-CET100□

C9・LED

EM-CET38□ 空調電源盤・2(27.300KW)

ED 端子台:2P(ﾘﾓｺﾝ用)

	機器	容量
	MCCB3P225AF/175AT 主幹	27.720KW
P1	ELCB3P50AF/30AT 空調機:EAC-1	2.160KW
P2	ELCB3P50AF/30AT 空調機:EAC-1	2.160KW
P3	ELCB3P50AF/30AT 空調機:ACC-1	3.900KW
P4	ELCB3P50AF/30AT 空調機:ACC-1	3.900KW
P5	ELCB3P50AF/30AT 空調機:ACC-1	3.900KW
P6	ELCB3P50AF/30AT 空調機:ACC-1	3.900KW
P7	ELCB3P50AF/30AT 空調機:ACC-1	3.900KW
P8	ELCB3P50AF/30AT 空調機:ACC-1	3.900KW

空調電源盤・2:ｽﾃﾝﾚｽ製・屋外・防雨・壁掛形・錠付・指定色仕上

空調電源盤・1より
27.300KW・EM-CET38□

C9・LED

EM-CET38□

ED 端子台:2P(ﾘﾓｺﾝ用)

	機器	容量
	MCCB3P225AF/175AT 主幹	27.300KW
P1	ELCB3P50AF/30AT 空調機:ACC-1	3.900KW
P2	ELCB3P50AF/30AT 空調機:ACC-1	3.900KW
P3	ELCB3P50AF/30AT 空調機:ACC-1	3.900KW
P4	ELCB3P50AF/30AT 空調機:ACC-1	3.900KW
P5	ELCB3P50AF/30AT 空調機:ACC-1	3.900KW
P6	ELCB3P50AF/30AT 空調機:ACC-1	3.900KW
P7	ELCB3P50AF/30AT 空調機:ACC-1	3.900KW

特記事項 ① ② ③ ④

代表設計者 一級建築士登録番号 第 号 氏名 / 一級建築士登録番号 第 号 氏名

縮尺 A2(A3):S=1:150(2/1) 設計年月日

工事名称 一宮中学校 教室空調設備設置工事

図面名称 幹線・動力設備平面図(普通教室棟・1階)

E — 05

２階平面図 S=1/150

特記事項	①
	②
	③
	④

代表設計者
一級建築士登録番号 第　　号
氏名
一級建築士登録番号 第　　号
氏名

縮尺 A2(A3):S=1:150(211)
設計年月日

工事名称　一宮中学校　教室空調設備設置工事
図面名称　幹線・動力設備平面図（普通教室棟・２階）

E－06

３階平面図 S=1/150

特記事項	① ② ③ ④	代表設計者 一級建築士登録番号 第 号 氏名	一級建築士登録番号 第 号 氏名	縮尺 A2(A3):S=1:150(211) 設計年月日	工事名称 一宮中学校 教室空調設備設置工事 図面名称 幹線・動力設備平面図（普通教室棟・３階）	E－07

62,000
4,000
13,500
4,500
9,000
4,500
13,500
4,000
9,000
6,750
6,750
6,750
6,750
2,500
9,500
7,000
管理棟平面図参照
EM-AE1.2-2C×2
廊下
EM-AE1.2-2C(MM1.A)
EM-AE1.2-2C(MM1.A)
EM-AE1.2-2C
EM-AE1.2-2C
階段
会議室
(94.50㎡)
相談室
(31.50㎡)
調理準備室
(31.50㎡)
調理室
(73.50㎡)
美術準備室
(21.00㎡)
階段
金工室
(85.50㎡)
倉庫
EM-CE5.5□-4C(G22LT)
EM-CE5.5□-4C(F2・24・WP)
EM-CE8□-3C.E2.0×2(G36LT)
EM-CE5.5□-4C(F2・24・WP)
配置図参照
EM-CE8□-3C.E2.0×2(FEP30)
特別支援教室
(31.50㎡)
特別支援教室
(31.50㎡)
※ 凡例
B
ｽﾃﾝﾚｽ製・屋外・防雨・壁掛形
主幹:なし
分岐:ELCB3P50AF30AT×2
【特別教室棟】1階平面図 S=1:150
特記事項 ① ② ③ ④
代表設計者
一級建築士登録番号 第 号
氏名
一級建築士登録番号 第 号
氏名
縮尺
A2(A3):S=1:150(211)
設計年月日
工事名称 一宮中学校 教室空調設備設置工事
図面名称 空調電源配線設備平面図(特別教室棟・1階)
E-08

特　記　仕　様　書

工事名称	笛吹市立小中学校教室空調設備設置工事　一宮中学校
工事場所	笛吹市一宮町末木801
工事範囲	設計図書・現説・工事契約書に依る。
一般事項	1．本工事は、本設計図、特記仕様書、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）平成２２年版
	同標準図、機械設備工事監理指針（平成１９年版）に基づき、諸官庁関係法規に準拠して施工する。
	2．本工事に於て、図面・本仕様書に疑義が生じた場合、及びそれに明記なきものでも技術上当然必要なもの、並びに軽微な変更は
	監督員と協議の上誠実に施工するものとする。　但し、費用は請負人の負担とする。
	3．本設計図は、工事概要を示すものであるから、請負人は充分なる理解の上、工事着手前に工程表・機器承認図等を提出し、
	監督員の承認を得る事。
	4．本工事請負人は建築工事工程表入手後、速やかに設備工事工程表を作成提出し、関連工事の進捗に支障なき様努め、監督員の要請
	を受けたる場合は、詳細工程表、逆算工程表を遅滞なく提出すること。
	5．本工事に於いて、不良資材、施工不良等に起因する機能不全を生じたる場合は、再度その責任に於いて資材の取り替え、修理等を
	無償で行うこと。
	6．工事完成時には、機器取り扱い説明書・保証書・各申請書類・試験表・竣工図・工程写真・完成写真等を提出すること。
	尚、内容・部数等詳細については、監督員の指示に従うこと。
優先順位	1．法令・政令・規則等の定め及び指導
	2．特記仕様書
	3．設計図書
	4．国土交通大臣官房庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（機械・電気設備工事編）　最新版
工事項目	1．空調機器　設備工事
	2．空調配管配線設備工事
	3．電　気　　設備工事
	4．建　築　　改修工事

保温塗装仕様	冷媒管	別紙冷媒管保温施工要領図参照
	ドレン管	いんぺい部　　ポリエチレンパイプカバー（ワンタッチチューブ）１０㎜厚保温筒
	ドレン管	屋内露出部　　硬質ウレタンフォームパイプカバー（硬質塩化ビニール表皮）２０㎜厚保温筒
	ドレン管	屋外露出部　　調合ペイント２回塗り　又はカラーＶＰ管使用

凡例	冷媒管	――R――ϕ	冷媒用保温付Ｌタイプ銅管　　ＪＩＳ－Ｈ－３３００（Ｌ）　室内外機間電源配線共
	ドレン管	――D――VP	硬質塩化ビニール管　　ＪＩＳ－Ｋ－６７４２（ＶＰ）

メーカーリスト	冷暖房エアコン	パナソニック　　日立　　ダイキン工業　　三菱
	高圧受変電設備改修	新星電機（株）　　（有）誠和電機工業　　小山電機（株）
	分電盤	新星電機（株）　　（有）誠和電機工業　　小山電機（株）
	（上記以外のものについても、材料承諾願図による係員の承諾を要す）	

機器類の施工	メーカー建材・製品・電気及び機械設備機器類の施工については、工事標準仕様書による他、メーカー仕様書に基づき責任施工とし
	メーカー立会いのもと施工状況を確認し、完成届を監理者に提出すること。
	完成届受理後監理者は検査を行うが、メーカー建材・製品・設備機器類、施工の瑕疵については監理者は責任を負わないこととする。

特記事項	1．機器類に使用する鋼製架台等は、溶融亜鉛メッキ仕上のものを使用すること。
	2．配管配線工事に伴う既存壁等のコア抜きはダイヤモンドカッターを使用すること。
	事前に壁の鉄筋探査を行い、鉄筋の位置を避けるなど構造面に配慮して施工すること。
	3．冷媒管口径については参考の為、使用メーカーに対応出来る仕様とする。
	4．文字標識等は監督員と打ち合せの上表示する。
	5．工事に必要な各種申請手続きは、全て本工事にて行うこと。
	6．材料の加工は出来る限り建物外で行うこと。
	7．設備配管に伴う既存壁等のはつり補修は、本工事施工のこと。（仕上げ補修共）
	8．機器類搬出入経路及び設置工事範囲は、床養生を行うこと。
	9．撤去に伴う発生材は、廃掃法に基づき適正に処分すること。
	１０．屋内配管の支持は全て上階コンクリートスラブより行うこと。　天井下地には支持しないこと。
	１１．屋内配管ルート上及びエアコン室内機部分の天井は本工事にて撤去、新設すること。
	１２．ドレン管はＶＰ管とし、ジャバラホースは絶対に使用しないこと。
	１３．ドレン管は適正な勾配が確保できる場合は、冷媒管化粧ケース内に納めても良い。（保温はいんぺい仕様にて施工）
	１４．屋外露出のドレン管は塗装を行うか又はカラーＶＰ管を使用する。　塗装色は壁面と同系色とする。
	１５．配管貫通孔（コンクリート部）の穴埋めはモルタル等を使用し、仕上げ処理は貫通部周りと同一仕様とする。
	１６．図面上のリモコン位置は参考とし、学校側に確認の上決定とする。
	１７．リモコン配線の露出立下り部分は、メタルモール内に納める。
	１８．室外機の防振は、防振ゴムパットを使用する。（詳細は基礎詳細図参照）
	１９．２階より上部の外壁面（ベランダより施工可能部分を除く）配管施工は原則として高所作業車を使用し、
	車両進入不可能部分のみ外部枠組足場とする。
	２０．配管支持間隔は冷媒管２ｍ以下、ドレン管１ｍ以下とする。（一般吊り棒鋼使用）
	２１．冷媒管はチッ素ガス又は乾燥空気にて気密試験を行い、結果を報告書として写真添付の上提出すること。
	試験圧力は製造者の設計圧力以上（4MPa程度）とし、24時間放置し漏れのないことを確認すること。
	２２．工事完了後試運転調整を行い、良好な冷暖房運転（吹出温度、気流分布、異音の有無等）を確認後引渡しとする。
	２３．各種メーカー特有の建材及び機器の設置については、本特記仕様書による他、各メーカー仕様に基づき施工のこと。

主要機器表

記号	名称		仕様	電源 相	電源 電圧	電源 容量（参考値）	数
ＡＣＣ－１	氷蓄熱パッケージ	形式	天井吊り型　　シングルタイプ　　エコアイスミニ				１３
	エアコン	能力	冷房１５ｋｗ（蓄熱利用時）、１２.５Ｋｗ（非蓄熱時）	３	２００	３.９Ｋw	
			暖房１４ｋｗ（非蓄熱、標準時）				
		蓄熱量	冷房１３０ＭＪ、暖房２２ＭＪ				
		圧縮機	インバーター又は定速式、２.４Ｋｗ（参考値）				
		付属品	専用リモコン　　室外機保護ネット（吹出、吸込口）				
ＥＡＣ－１	パッケージ	形式	天井吊り型　　シングルタイプ	３	２００	２.１６Ｋw	４
	エアコン	能力	冷房７.１ｋｗ				
	（3.0馬力）		暖房８.０ｋｗ				
		圧縮機	定速式、１.２Ｋｗ（参考値）				
		付属品	専用リモコン				
Ｒ－１	集中リモコン	形式	ＯＮ／ＯＦＦ集中コントローラー				１

特記事項 ① ② ③ ④	代表設計者 一級建築士登録番号　第　　号 氏名	一級建築士登録番号　第　　号 氏名	縮尺 NO SCALE 設計年月日	工事名称　一宮中学校　教室空調設備設置工事 図面名称　特記仕様書

M － 01

天井改修要項（１～３階共通）

図中の室内機及び配管部分の天井材を改修（撤去、新設）する。

改修範囲は室内機１箇所当たり約２㎡、配管ルートは幅約１ｍ×長さとする。

天井下地は改修せず再使用とする。

既存天井材仕様については下記参照（新設も同一仕様とする）

普通教室	化粧石膏ボード t=9.5（ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ）

特記事項	
①	
②	
③	
④	

代表設計者
一級建築士登録番号　第　　号
氏名
一級建築士登録番号　第　　号
氏名

縮尺　A2(A3)：S=1：200(282)
設計年月日

工事名称　一宮中学校　教室空調設備設置工事

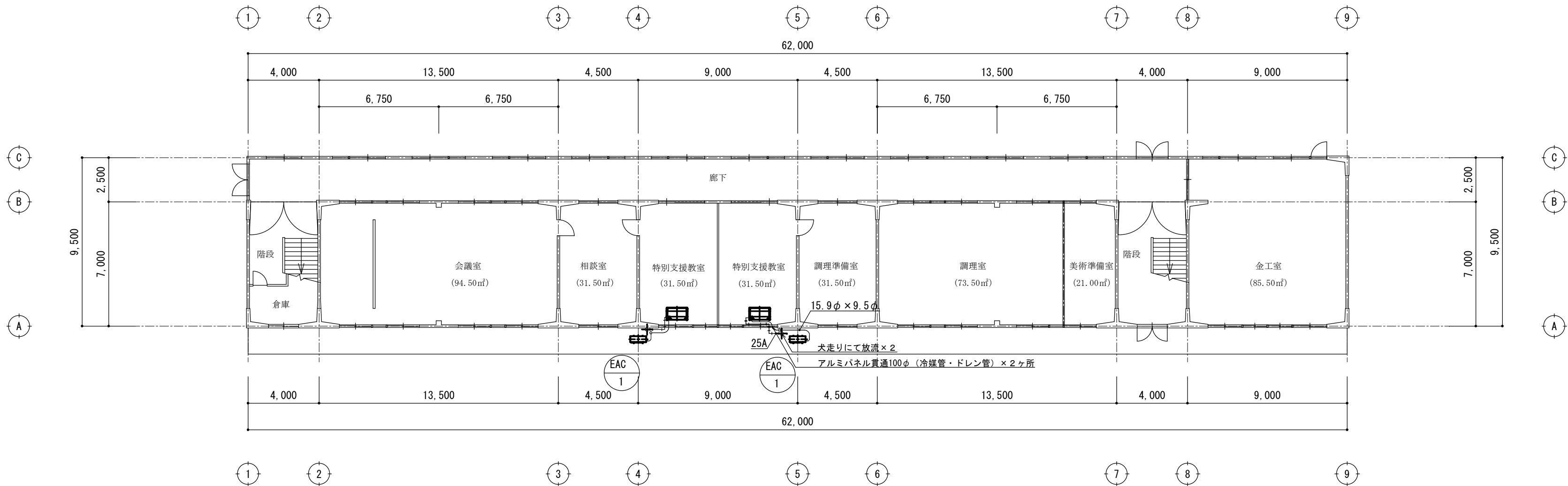
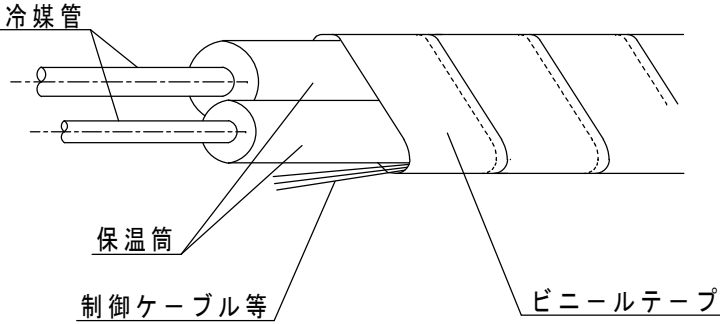
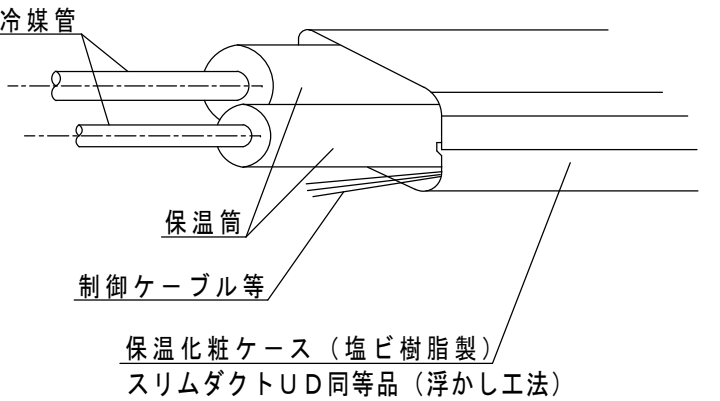
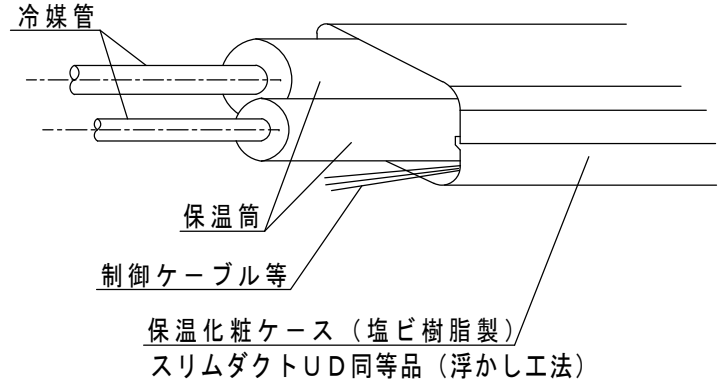
図面名称　１・２階空調設備平面図

M － 02

天井改修要項（１～３階共通）	
図中の室内機及び配管部分の天井材を改修（撤去、新設）する。	
改修範囲は室内機１箇所当たり約２㎡、配管ルートは幅約１ｍ×長さとする。	
天井下地は改修せず再使用とする。	
既存天井材仕様については下記参照（新設も同一仕様とする）	
普通教室	化粧石膏ボード t=9.5（ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ）

３階空調設備平面図　S=1:200

特記事項	代表設計者		縮尺	
①	一級建築士登録番号 第 号	一級建築士登録番号 第 号	A2(A3)：S=1：200(282)	工事名称　一宮中学校　教室空調設備設置工事
②	氏名	氏名	設計年月日	図面名称　３階空調設備平面図
③				M — 03
④				

天井改修要項（１階）	
図中の室内機及び配管部分の天井材を改修（撤去、新設）する。	
改修範囲は室内機１箇所当たり約２㎡、配管ルートは幅約１ｍ×長さとする。	
天井下地は改修せず再使用とする。	
既存天井材仕様については下記参照（新設も同一仕様とする）	
特別教室教室	化粧石膏ボード t=9.5（ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ）

特別教室棟　１階空調設備平面図　　S=1:200

特記事項	
①	
②	
③	
④	

代表設計者		縮尺	
一級建築士登録番号　第　　号	一級建築士登録番号　第　　号	A2(A3)：S=1：200(282)	工事名称　一宮中学校　教室空調設備設置工事
氏名	氏名	設計年月日	図面名称　特別教室棟　１階空調設備平面図

M － 04

室外機基礎側面図　　S=1:20

室外機基礎側面図　　S=1:20

特記事項		代表設計者		縮尺	工事名称　一宮中学校　教室空調設備設置工事	M － 05
①		一級建築士登録番号　第　　号	一級建築士登録番号　第　　号	A2(A3)：S=1：20(28.2)		
②				設計年月日	図面名称　室外機基礎詳細図	
③		氏名	氏名			
④						

冷　媒　管　保　温　施　工　仕　様

施　工　箇　所	保　温　の　種　別	施　　　工　　　例
天井内、ＰＳ内 屋外ラッキング内 その他いんぺい部	１．架橋ポリエチレンフォーム保温筒 ２．ビニールテープ	冷媒管 保温筒 制御ケーブル等 ビニールテープ
屋内露出部	１．架橋ポリエチレンフォーム保温筒 ２．塩ビ樹脂製保温化粧ケース （必要箇所をビス止メ）	冷媒管 保温筒 制御ケーブル等 保温化粧ケース（塩ビ樹脂製） スリムダクトＵＤ同等品（浮かし工法）
屋外露出部	１．架橋ポリエチレンフォーム保温筒 ２．塩ビ樹脂製保温化粧ケース（浮かし工法） （必要箇所をビス止メ） ３．シーリング	冷媒管 保温筒 制御ケーブル等 保温化粧ケース（塩ビ樹脂製） スリムダクトＵＤ同等品（浮かし工法）

○ 冷媒管保温厚はガス管２０ｍｍ、液管１０ｍｍとする
（口径９．５２φ以下の液管保温厚は８ｍｍとしても良い）
○ 制御ケーブルは保温筒へ鉄線等で固定する事（ピッチ２Ｍ）

特記事項	代表設計者		縮尺	工事名称	一宮中学校　教室空調設備設置工事	M ― 06
① ② ③ ④	一級建築士登録番号　第　号	一級建築士登録番号　第　号	NO SCALE 設計年月日	図面名称	冷媒管保温施工要領図	
	氏名	氏名				